

# Campus Mail

For all the students

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
**福岡工業大学**

この件のお問い合わせは広報課へ  
TEL : 092-606-0607  
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2022-178  
12月20日～1月20日

## 台湾の学生とSDGsをテーマに オンライン協働学修プログラムを開催しました

本学協定校・国立高雄科技大学日本語学科（台湾）との協働学修プログラム「Virtual Exchange Program」が2022年11月18日（金）～12月2日（金）の日程で開催され、本学社会環境学部の学生30名と国立高雄科技大学日本語学科の学生39名が参加しました。このプログラムでは、「SDGsと大学の社会的責任(USR)」を大テーマとして設定し、学生達は「産業」「地域創生」「環境」「教育」「文化」の5つのテーマに分かれて話し合いました。1週目は担当するテーマにおける日本と台湾の現状と課題について、2週目には両大学の先生による講義を踏まえて、大学や自分達が果たせる社会的役割について日本と台湾の学生達は更に議論を深めました。最終日には、それぞれのグループが話し合った内容についてオンラインで発表しました。

コロナ禍を背景に2020年度より開始した国立高雄科技大学とのオンライン協働学修プログラムは、今回で4回目を迎えました。来年には台湾を訪問し、高雄市やその周辺地域の社会課題と地域創生の政策について直接現地で学ぶ予定です。持続可能でよりよい社会の実現のために、同じ地球市民として海外の学生達とともに学びあう機会を今後も計画して参ります。

(国際連携室)



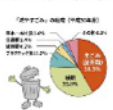
### 各グループのプレゼン資料の一例

#### 日本はごみの焼却炉の数が世界一

日本は世界で一番ゴミを燃焼する国に分類して扱われている。焼却によって生じるCO2が気候変化に大きな影響を与えている。燃焼・廃やすことで体積が40分の1になり、処理するときに効率が高くごみの埋め立て場をより長く使えるため。

また、「燃えるゴミ」の内部のほとんどが生ごみと雑種であり、努力すればリサイクル活動によって、ゴミの量を減らすことが出来るのではないかと考えられる。事実、リサイクル活動が盛んなヨーロッパに比べて、日本はリサイクル率が非常に低い。

これらより、リサイクルへの取り組みやごみを減らす努力、フードロス削減の取組についていかに早く取り組むべきであると考えられる。

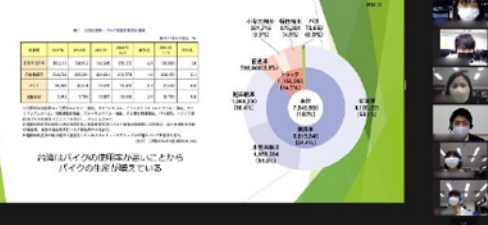


#### <環境>



高雄科技大学・黄愛玲副教授

#### 車産業の現状



#### <産業>



社会環境学科 藤井教授

#### 日本における一極集中

- 東京一極集中により地方で人口が減少している。
- 九州でも福岡一極集中が起きている
- 福岡以外の九州の県では人口の減少が起きている
- ほかの地域でも政府の一極集中がみられる。

#### 解決策

- 地方中核都市を積極一地方から大都市に集う人の流れをせき止める
- 中高年の地方移住支援
- スキル人材の育成

地方にも雇用機会を増やしていき、若者の大都市への流出を防ぐ

#### 台湾における一極集中

若者たちは台湾の首都圏、あるいは東台湾から西台湾の都市に集中する。

- 行政職は「地方創生会報」を成立
- 備蓄する若者に支えた資源を強化する。

#### <地域創生>



修了証授与の様子